

2019016

プロジェクト名 商店街で笑点街

プロジェクトの概要

現在私たちが通学している日本大学生産工学部津田沼キャンパス周辺には多くの商店街が存在する。それらの商店街では様々な特徴があり、催しや展示を行うことで活性化の促進を図っている。しかし、そのような事が周囲にどれだけの影響を与え、どの程度活性化に貢献しているのかは未知数である。そこで私たちは日本大学の学生として「大久保商店街」と「谷津商店街協同組合」の二つの商店街を対象に活性化の手助けをするとともにさらなる発展に貢献したいと考える。

プロジェクトの結果・成果

大久保商店街では、大久保駅の南側の市民や学生以外にとっての利用者数が少ないと感じる。そこで「プラッツ習志野」のオープニングイベント参加し、より多くの人に大久保商店街を知ってもらう取り組みを行う。

谷津商店街協同組合では数年前からペットボトルツリーの作成を商店街側で企画されていた。そこで自分たちが商店街と利用者の仲介役となり、活気あふれるイベントを催す。

●成果

〈大久保商店街〉

イベントの前後で商店街の利用者数の変化を調査する。それと同時にイベント期間中に書店街の認知度をヒアリング調査する。

〈谷津商店街協同組合〉

谷津干潟や市民と協力し、ペットボトルツリー作成に向けたワークショップを開催する。

以下にオープニングイベントで実施したアンケートと、ペットボトルツリーに関する関心度のアンケート結果を示す。今回の結果を踏まえ継続的に実施していくことが活性化に有効だと考えられる。

〈オープニングイベント〉

■今後さらに大久保商店街を利用したいか

はい・・・86%

いいえ・・・7%

〈ペットボトルツリーに関する関心度〉

■店舗としての満足度はあったか

はい・・・73%

いいえ・・・26%

活動写真

